

R5年度 事業名	地域子育て活動費補助金
R4年度 事業名	母親クラブ活動費補助事業

総合戦略 体系	313	若くて元気のまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備
------------	-----	-------------	---------------------	----------

PLAN (計画)	部署名	子育て支援課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	母親クラブをはじめとした、市内の地域で子育て支援活動を行う団体を支援し、児童が心身ともに健やかに育つよう、地域の児童福祉の向上を図る。				
	概要	児童が心身ともに健やかに育つように、会員同士が親睦を深めたり地域の児童福祉の向上を目的とした地域団体の事業に対し、補助金を交付して支援する。				
法令等 根拠		実施 形態	内 容	母親クラブをはじめとした、市内の地域で子育て支援活動を行う団体が実施する地域の児童福祉の向上を目的とした事業に対して、補助金を交付する。		
現在	補助金等交付					

活動指標								
指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
補助団体数		団体	目標値	18	13	13	16	16
			実績値	7	9	10		
成果指標								
指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
各団体の延べ実施事業数		数	目標値	65	26	26	30	30
			実績値	15	22	18		
計算 根拠			達成率	23.1	84.6	69.2		
			実数値					
			ランク	C	B	C		
前年度 ランク B、Cの 理由	コロナ禍の影響で、母親クラブの活動数が減少していたこと、また母親クラブの活動を中止、停止する団体があったため。							

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,080	540	900	850	800		事業タイプ	単独事業
	決算額	1,080	192	417	482			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	3	2	9	601	地域子育て活動費補助金	800	800	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	800

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.01
	会計年度職員	0
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	9
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input type="radio"/> 目標を達成できている <input checked="" type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒	事務改善(手段・サービス水準の見直し)
取組内容	母親クラブをはじめとした、市内の地域で子育て支援活動を行う団体を支援し、児童が心身ともに健やかに育つよう、地域の児童福祉の向上を図る。	
来年度へ向けて	R4年度の実績	令和4年度補助した母親クラブ数は10団体(実際は14団体あって、活動できず補助しなかったのが4団体)、延べ実施事業数は目標26回に対して18回だった。
	R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	コロナ禍の影響もあり、母親クラブの活動数が減少しているほか、母親クラブの活動を中止、停止する団体も出てきているため、補助対象を広げた。今後、補助団体の意見を聞きながら、活用いただけるよう検討していく。
	実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	令和5年度から補助対象者を母親クラブに限定せず、市内で活動を行う地域活動団体に広げ補助率を設け、会員数に応じた補助上限とした。コロナ前の活動に戻つつあるので、活動内容を注視しながら対応していく。
	R6方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R6年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	出会い交流サポート事業
R4年度 事業名	出会い交流サポート事業

総合戦略 体系	311	若くて元気のまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	出会い交流等のサポート
------------	-----	-------------	---------------------	-------------

PLAN (計画)	部署名	子育て支援課	開始年度	2005	終了年度	9999
	目的	結婚を希望する者が交流できる機会や場を提供することで婚活を応援し、未婚率の低減を図る。				
	概要	令和2年度より、県、県内市町で運営するふくい結婚応援協議会に加入 令和4年度より「ふくい婚活サポートセンターマッチングシステム」登録者負担金の助成を導入し、婚活支援を推進する。 婦人福祉協議会に委託し、結婚相談業務を実施している。 平成24年度から、提案型市民主役事業で未婚の男女が交流できるイベントの開催を市内の団体に委託していた。平成27年度から令和3年度まで若者たちに新たな出会いとなる場とモノづくりを通して結婚を望む人との支援を実施した。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容 ふくい婚活サポートセンターマッチングシステム登録者負担金助成、婦人福祉協議会への業務委託		
現在	民間等委託(全部)					

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	イベント等の開催回数 ※～2021年度		回	目標値	4	3			
				実績値	-	3			
	登録料助成について情報発信回数 ※2022年度～		回	目標値			3	3	3
				実績値			3		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	イベント等の延べ参加者数 ※～2021年度		人	目標値	120	60	-	-	-
				実績値	-	48			
計算 根拠			達成率	-	80				
			実数値						
ふくい結婚応援協議会登録者数 ※2022年度～		人	目標値			70	40	40	
			実績値			26			
計算 根拠			達成率			37.1			
			実数値						
			ランク	-	B	C			
前年度 ランク B、Cの 理由	令和3年度まで提案型市民主役事業で未婚の男女が交流できるイベントを開催していたが、令和4年度からはイベントを実施せず、マッチングシステムの登録料を支援することとした。 結婚応援協議会への登録者数については、登録料の助成を行い登録を推進しているが、女性の登録者が少ないこともあり、目標値には達しなかった。								

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,100	200	830	680	290		事業タイ	単独事業
	決算額	1,100	100	830	436			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	3	2	9	202	出会い交流サポート事業費	530	290	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	290

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.05
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
合計点数	10
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善

ACTION

今年度 R5方向性⇒	維持
取組内容	婚活を始める人のきっかけづくり支援として、「ふくい婚活サポートセンターマッチングシステム」登録者負担金の助成をする。結婚を希望する人に対して、結婚相談員が結婚に関する情報提供、相談、紹介業務等を婦人福祉協議会に委託する。
来年度へ向けて R4年度実績	ふくい婚活サポートセンターマッチングシステムの登録料助成についての情報発信を、広報誌・ホームページへの掲載・市役所エントランスホールに成婚者メッセージボードの掲示の計3回実施した。
R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	R4年度は、ふくい婚活サポートセンターマッチングシステムの登録料助成を推進した。女性の登録者数が少ないことを鑑み、R5年度は引き続き登録料助成を推進するとともに、ふくい結婚応援協議会が実施する女性の新規登録者の登録料を期間限定で半額とする事業の周知を図る。
実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	結婚を希望する人に対して、結婚相談員が結婚に関する情報提供、相談、紹介業務等を婦人福祉協議会に委託する。ふくい結婚応援協議会が主催する「ふくい婚活サポートセンターマッチングシステム」との連携を図る(紹介、情報など)。
R6方向性⇒	維持
CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	母子家庭等児童生徒激励事業
R4年度 事業名	母子家庭等児童生徒激励事業

総合戦略 体系	312	若くて元気のまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	出産・子育ての負担軽減
------------	-----	-------------	---------------------	-------------

PLAN (計画)	部署名	子育て支援課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	ひとり親家庭の子どもが小・中学校に入学および中学校を卒業するときに、祝い品を贈呈する。				
	概要	ひとり親家庭の子どもが小・中学校入学、中学校卒業児童に祝い品を贈呈する。				
法令等 根拠		実施 形態	内容	ひとり親家庭の子どもが小・中学校入学、中学校卒業児童に祝い品(商品券)を贈呈する。		
現在	市直営					

活動指標								
指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
お祝いする回数		回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1		
成果指標								
指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
祝品の贈呈率		%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
計算 根拠	贈呈者数/贈呈該当者数		達成率	100	100	100		
			実数値	190/190	147/147	145/145		
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,540	1,540	1,330	1,260	1,120		事業タイプ	単独事業
	決算額	1,190	1,330	1,029	1,015			経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	3	2	2	203	母子家庭等児童生徒激励費	1,120	1,120
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	1,120

補助金等	No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
	1		
	2		
	3		
	4		
	5以降		
		合計	0

事業要員	正規職員	0.03
	会計年度職員	0.02
	※所要時間	0

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	9
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
	成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	ひとり親家庭の子どもの小・中学校入学、中学校卒業児童に、祝い品(7,000円の商品券)を贈呈する。
来年度の実績	令和4年度 祝い品は該当者145名に対し、商品券7,000円を贈呈した。
R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	「ひとり親家庭の子どもの小・中学校入学および中学卒業を祝う会」を開催し、入学・卒業する児童4人の参加があった。R5年度も開催予定。学校行事などで、参加する児童数が少ないため、参加者数を増やす工夫が必要。
実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	祝う会の開催については、母子寡婦福祉連合会と連携してより多くの児童に参加してもらえるよう働きかける。祝い品は、受取り損なう人がいないように、早めに通知・督促を送る。
R6方向性⇒	<input type="text" value="維持"/>
CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	福祉手当支給事業
R4年度 事業名	福祉手当支給事業

総合戦略 体系	312	若くて元気のまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	出産・子育ての負担軽減
------------	-----	-------------	---------------------	-------------

PLAN (計画)	部署名	子育て支援課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	経済的に困っているひとり親家庭等の保護者に手当を支給することにより、経済的自立と生活意欲の向上を図る。				
	概要	ひとり親家庭等で生活の状態が困窮していると認められる世帯に対し、その世帯で児童(18歳到達年度末)を養育する人に手当を支給する。(所得制限有り)(児童一人につき月額5,000円、世帯の限度額は、月額20,000円)				
	法令等 根拠	鯖江市福祉手当支給条例	実施 形態	内容		
現在	市直営		ひとり親家庭等で生活が困窮していると認められる世帯に対し、手当を支給する。			

DO (実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	制度の周知活動	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	3		
	成果指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	支給率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
	計算 根拠	支給決定数/支給要件適合者申請数×100	達成率	100	100	100		
			実数値	21/21	16/16	18/18		
		ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由								

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,000	1,000	900	800	700		事業タイプ	単独事業
	決算額	610	765	655	525			経費区分	扶助費

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)		
							事業費	補助金等	
1	3	2	2	302	福祉手当費	700	700		
2									
3									
4									
5以降									
							合計	700	

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.2
	会計年度職員	
	※所要時間	0

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	11
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	ひとり親家庭等で生活の状態が困難していると認められる世帯に対し、その世帯で児童(18歳到達年度末)を養育する人に手当を支給する。(所得制限有り)(児童一人につき月額5,000円、世帯の限度額は、月額20,000円)
来年度の実績	令和4年度において、福祉手当支給事業周知活動は3回実施した。
R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	市のホームページや広報紙で、福祉手当支給事業についてPRをした。近年の物価高騰の影響により、今後増加が見込まれるため、本手当を必要としている人に伝わりやすい紙面づくりを心掛ける。
実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	対象となりうる方に広報できるよう、児童扶養手当の現況届受付の際などに併せてお知らせできるようにする。
R6方向性⇒	<input type="text" value="維持"/>
CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>
R6年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	鯖江市母子寡婦福祉連合会運営補助事業
R4年度 事業名	鯖江市母子寡婦福祉連合会運営補助事業

総合戦略 体系	312	若くて元気のまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	出産・子育ての負担軽減
------------	-----	-------------	---------------------	-------------

PLAN (計画)	部署名	子育て支援課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	鯖江市母子寡婦福祉連合会の活動を支援し、会員である母子家庭の自立向上を図る。				
	概要	鯖江市母子寡婦福祉連合会の運営費および事業費の一部を補助する。				
法令等 根拠		実施 形態	内容 鯖江市母子寡婦福祉連合会の活動の運営費に補助を行う。			
現在	補助金等交付					

DO (実施)	活動指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	研修会開催数		回	目標値	4	4	4	4	4
				実績値	4	4	4		
	計算 根拠	研修会開催数/目標値	達成率	100	100	100			
			実数値						
		ランク	A	A	A				
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	730	730	657	600	550		事業タイプ	単独事業
	決算額	730	730	657	600			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	3	2	2	601	母子福祉団体等補助金	590	550	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	550

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.03
	会計年度職員	0.02
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	9
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input checked="" type="radio"/> 節減できている <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
有効性	市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
	成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒ 事務改善(手段・サービス水準の見直し)
取組内容	鯖江市母子寡婦福祉連合会の運営費の一部を補助する。
来年度へ向けて	<p>R4年度の実績 令和4年度の研修会開催数は、目標4回に対して4回実施した。</p> <p>R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題 令和4年度も感染症対策を講じながら、総会やひとり親家庭ふれあいのつどいなどを実施した。その他の会員活動も同様に事業継続した。令和5年度は開催方法を検討しながら、引き続き活動していく。運営費・事業費の補助額については、繰越金が発生していることから減額を行っている。</p> <p>実績と課題を踏まえたR6年度の変更点 運営費・事業費の補助額については、繰越金が発生していることから減額を行っている。</p> <p>R6方向性⇒ 維持</p> <p>CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由</p>

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R6年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	自立支援教育訓練給付事業
R4年度 事業名	自立支援教育訓練給付事業

総合戦略 体系	312	若くて元気のまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	出産・子育ての負担軽減
------------	-----	-------------	---------------------	-------------

PLAN (計画)	部署名	子育て支援課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	ひとり親家庭の母および父が就業するために受講した資格取得等講座の受講料の一部を補助することにより、経済的自立を促進する。				
	概要	ひとり親家庭の母および父の自立を支援するために、職業相談を通じて指定された職業能力開発のための講座を受講するものに対して職業訓練終了後、受講料の一部を支給する。				
法令等 根拠	母子家庭等対策総合支援事業費国庫補助金交付要綱(厚生労働省)、鯖江市自立支援教育訓練給付金交付要綱	実施 形態	内容	ひとり親家庭の母が就業するために受講した資格取得等講座の受講料の一部を補助する		
現在	市直営					

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	ひとり親家庭制度新規申請者への制度周知活動回数		回	目標値		3	3	3	3
				実績値		3	3		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	給付事業支援率		%	目標値		100	100	100	100
				実績値		100	100		
	計算 根拠			達成率		100	100		
				実数値		1/1	1/1		
			ランク		A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	90	150	150	108	446		事業タイ	補助(国)事業
	決算額	80	90	15	11			経費区分	扶助費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	3	2	2	304	母子家庭等自立支援事業費	6,419	446
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	446

補助金等	No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
	1	母子家庭等自立支援補助金(県3/4)	335
	2		
	3		
	4		
	5以降		
		合計	335

事業要員	正規職員	0.01
	会計年度職員	0.01
	※所要時間	0

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	10
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止 維持または事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
	成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input type="radio"/> 目標を達成できている <input checked="" type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	ひとり親家庭の母および父の自立を支援するために、職業相談を通じて指定された職業能力開発のための講座を受講するものに対して職業訓練終了後、受講料の一部を支給する。
来年度の実績	令和4年度 自立支援教育訓練 実績1件
R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	ひとり親世帯の負担を解消に就労支援は重要であるため、積極的な周知が必要。
実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	支援が必要なひとり親世帯が利用できるよう、児童扶養手当現況届手続き時や他の窓口手続き時に制度の周知を行う。 R5まで補助対象外であった受講料の4割相当分についても補助対象とする。
R6方向性⇒	<input type="text" value="事務改善(手段・サービス水準の見直し)"/>
CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>
R6年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	高等職業訓練促進事業
R4年度 事業名	高等職業訓練促進事業

総合戦略 体系	312	若くて元気のまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	出産・子育ての負担軽減
------------	-----	-------------	---------------------	-------------

PLAN (計画)	部署名	子育て支援課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	ひとり親家庭の母および父が就業するために、専門的な資格取得のため修業中の生活費を支給することにより、資格取得と経済的自立を促進する。				
	概要	ひとり親家庭の母および父が資格受講中に、生活の安定を図り、資格取得を容易にするため、高等職業訓練促進費を支給するとともに、終了後に入学支援修了一時金を支給する。				
	法令等 根拠 現在	母子家庭等対策総合支援事業費国庫補助金交付要綱、鯖江市高等技能訓練促進費等交付要綱 市直営	実施 形態	内容 母子家庭の母が資格受講中に、生活の安定を図り、資格取得を容易にするため、高等職業訓練促進費を支給するとともに、終了後に入学支援修了一時金を支給する。		

活動指標								
指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
ひとり親家庭制度新規申請者への制度周知活動回数		回	目標値		3	3	3	3
			実績値		3	3		
成果指標								
指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
給付事業支援率		%	目標値		100	100	100	100
			実績値		100	100		
計算 根拠			達成率		100	100		
			実数値		1/1	3/3		
			ランク		A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,910	1,850	1,650	2,892	5,973		事業タイ	補助(国)事業
	決算額	0	0	846	2,892			経費区分	扶助費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	3	2	2	304	母子家庭等自立支援事業費	6,419	5,973	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	5,973

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1	母子家庭等自立支援補助金	4,480
2		
3		
4		
5以降		
合計		4,480

事業要員	正規職員	0.03
	会計年度職員	0.02
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	12
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	ひとり親家庭の母および父が就業するために、専門的な資格取得のため修業中の生活費の負担を軽減するため訓練促進費を支給する。
来年度の実績	R4年度 高等職業訓練給付金 3件 2,892千円
R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	ひとり親世帯の経済的自立に向けた資格取得は重要であり、生活負担の解消のため、制度の積極的な周知が必要。
実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	支援が必要なひとり親世帯が利用できるよう、児童扶養手当現況届手続き時や他の窓口手続き時に制度の周知を行う。
R6方向性⇒	<input type="text" value="維持"/>
CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>
R6年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	すみずみサポート事業
R4年度 事業名	すみずみサポート事業

総合戦略 体系	312	若くて元気のまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	出産・子育ての負担軽減
------------	-----	-------------	---------------------	-------------

PLAN (計画)	部署名	子育て支援課	開始年度	2005	終了年度	9999
	目的	小学校就学前および小学校3年生までの児童を対象に一時保育、子育て家庭における生活支援(家事代行サービス)を通して、子育て家庭の経済的・精神的負担の軽減を図る。				
	概要	就職活動、疾病、事故、冠婚葬祭、学校等の公的行事への参加など、社会的にやむを得ない事由により、家庭で一時的に保育を行うことができない場合の子育て家庭の支援として、一時保育、家事代行サービスを民間事業者等に委託する。				
法令等 根拠		実施 形態	内容	一時保育、家事代行サービスを民間事業者等に委託し、子育て家庭の支援を行う。		
現在	民間等委託(全部)					

DO (実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	制度の周知活動	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	3		
	成果指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	支援率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
	計算 根拠	利用者数/利用申込者数	達成率	100	100	100		
			実数値	4034/4034	4369/4369	3107/3107		
	ランク		A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由								

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	11,500	11,800	11,800	13,480	10,000		事業タイプ	補助(県)事業
	決算額	10,997	8,435	8,091	8,807			経費区分	扶助費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	3	2	9	303	すみずみサポート事業費	10,000	10,000	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	10,000

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1	すみずみ子育てサポート事業費補助金	5,000
2		
3		
4		
5以降		
合計		5,000

事業要員	正規職員	0.2
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
合計点数	11
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善

ACTION

今年度 R5方向性⇒	維持
取組内容	一時預かり、家事代行サービスを民間事業者等に委託し、子育て家庭の支援を行う。(ホームページ、子育て支援ハンドブックやチラシで周知) 今後は、委託業者を増やし、より利用しやすい体制づくりに努める。
来年度の実績	一時預かり、家事代行サービスを民間事業者等に委託し、子育て家庭の支援を行った。また、ホームページ、子育て支援ハンドブックやチラシに掲載し、周知を行った。
R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	R4.9から多胎育児サポート・子どもさんプロジェクトにより、補助の対象が拡充し、新型コロナウイルスの行動制限等が緩和され、利用の増加が見込まれるため、業者とも情報共有しながら、気軽に利用できる体制を整えたい。
実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	すみずみ子育てサポート事業の多胎育児サポート事業・子どもさんプロジェクト(R4~)を周知し、子育て家庭および妊婦家庭の経済的、精神的負担を軽減を図り、子育てしやすい環境を整備する。利用量も増えているため、委託先を増やすなどして、ニーズにこたえられるよう努める。
R6方向性⇒	維持
CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度 事業名 市民役事業にかかる額(単位千円):

R6年度 事業名 市民役事業にかかる額(単位千円):

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	子育てマスター地域活動推進事業
R4年度 事業名	子育てマスター地域活動推進事業

総合戦略 体系	313	若くて元気のまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備
------------	-----	-------------	---------------------	----------

PLAN (計画)	部署名	子育て支援課	開始年度	2005	終了年度	9999
	目的	子育てに関する悩みや不安を抱えている子育て中の保護者が、県が認定登録した子育てマスターと相談できる場を提供することで、子育て支援の充実を図る。				
	概要	子育てマスターを活用した相談事業を実施する。				
法令等 根拠		実施 形態	内容	子育てマスターを活用した相談事業を実施する。		
現在	市直営					

活動指標								
指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
延べ活動回数		回	目標値	84	100	100	100	100
			実績値	62	63	79		
成果指標								
指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
支援率		%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
計算 根拠	活動回数/実施要請回数	達成率	100	100	100			
		実数値	62/62	63/63	79/79			
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	560	560	532	532	532		事業タイ	補助(県)事業
	決算額	382	310	413	493			経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	3	2	9	204	子育てマスター地域活動推進事業費	532	532
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	532

補助金等	No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
	1	子育てマスター地域活動推進事業費補助金(県1/2)	266
	2		
	3		
	4		
	5以降		
		合計	266

事業要員	正規職員	0.06
	会計年度職員	
	※所要時間	0

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	11
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
	成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒	維持
取組内容	7小学校区で子育て支援の一環として、子育てマスターを活用した相談の場を公民館等で提供することで、子育て支援の充実を図る。	
来年度へ向けて	R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題 新たなマスター活動者の確保が難しく、事業拡大、相談支援拡大が不十分、緊急時に柔軟に対応することが困難である。コロナ禍が明け、参加者の増加が考えられ、子育ての不安や悩みを抱える保護者の相談に対応することは必要だと考える。	
	実績と課題を踏まえたR6年度の変更点 子育て支援センターにいろいろなかよる一むにて、子育てマスターによる子育て相談会を実施(日時指定)「マスターとお話しよう」と銘打つ。また、マスター登録を促し、マスターの増員を図り、より多くの子育て家庭を支援する。	
	R6方向性⇒	事務改善(市民等との協働を導入・拡大)
	CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R6年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	地域子育て支援拠点事業
R4年度 事業名	地域子育て支援拠点事業

総合戦略 体系	313	若くて元気のまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備
------------	-----	-------------	---------------------	----------

PLAN (計画)	部署名	子育て支援課		開始年度	1998	終了年度	9999
	目的	子育て支援センターで、子育て家庭を対象に、親子の交流促進や子育て講座、育児相談などを設けることで、子育ての孤立感・負担感の解消を図る。また、地域全体での子育てを支援する基盤の形成を図る。					
	概要	子育て支援センターにおいて、(1)親子の交流促進や子育て講座を行う、(2)18歳までの児童とその家庭および妊産婦を対象に、子育てに対する不安や悩み、虐待以外の家庭内の問題に対して、電話や来所面接、訪問支援など継続的な業務を実施する、(3)各子育て支援関係機関と連携をとり、子育て家庭の多様なニーズに対応した支援事業を行う。また、子育て家庭を対象に子育ての悩みや問題について情報交換や学習機会の提供および子育てグループの支援活動の企画、指導や地域の保育資源の情報提供を行う。また、地域子育て支援ネットワークとの連携を強化し地域での支援体制を強化していく。					
法令等 根拠	児童福祉法	実施 形態	内容	子育て支援センターとして遊び場の提供、講座や相談事業を実施する。地域の子育て支援の拠点として、子育て家庭への情報発信、地域でのネットワークを生かし、各地区の子育て支援事業を援助する。			
現在	市直営						

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	なかよし一む開所日数		回	目標値	250	250	250	250	250
				実績値	254	239	257		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	センター利用対象者の1事業当たり利用数		人数	目標値	28	28	25	35	35
				実績値	18.3	32.9	27.1		
	計算 根拠	延利用者数/事業回数		達成率	65.3	117.5	108.4		
				実数値	4659/254	7872/239	6966/257		
			ランク	C	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	16,689	19,249	19,156	12,369	13,369		事業タイ	補助(国)事業
	決算額	16,115	18,354	9,321	9,631			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	3	2	9	201	地域子育て支援センター事業費	36,325	13,369	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	13,369

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1	子ども・子育て支援交付金(国庫支出金)	5,696
2		
3		
4		
5以降		
合計		5,696

事業要員	正規職員	0.3
	会計年度職員	2.5
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	11
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度 R5方向性⇒	維持
取組内容	子育て支援センターにて子育て支援の中核施設として、親子の交流をはじめ子育て講座などの学習機会の提供や市内の子育て情報を子育て支援ハンドブックや携帯端末のアプリを使って情報発信を継続していく。また、各地区の地域で育む子育て支援ネットワーク委員会の事務局、保育所、健康づくり課、COSAPOや療育関係機関などとの連携強化に努め、子育てに優しい街づくりを推進する。
来年度へ向けて R4年度の実績	新型コロナウイルス感染拡大により、8月・9月は電話相談のみの利用となり、親子のなかよしの一む利用は239日だったが、徐々に第1.3土曜日の開所日の情報が保護者に届き土曜利用の親子も増えてきている。にじいろでの総合相談事業の情報発信に伴い、相談者の増加も見られ、なかよし一むでの相談対応も多くなってきている。
R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	(R4年度)提案型市民主役事業として、地域で子育て中の親子の見守りや、サポートを行う人材を育成しようという目的として、「子育てサポーター養成講座」を実施する。 (R5年度)言語聴覚士の常駐により相談事業も充実してきた、令和5年度よりこぼの教室を実施し更なる支援体制の拡充を図りたい。COSAPO、地域で育む子育て支援ネットワーク委員会と連携し土日開催のイベントを実施し、休日・雨天でも遊べる場の提供を行う。
実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	子ども家庭総合支援拠点として、気軽に育児相談等ができる場であることを、広報誌やフェイスブック、ホームページを通して情報発信を行う。また、「アイアイ親子サポートセンター」「子育て支援センター」「子育て支援課」が連携して、子育て講座や相談業務を進め、支援が必要な人を取り残さないスムーズな体制を作る。
R6方向性⇒	維持
CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	可能	可能	可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	実施	実施	未実施

R5年度事業名	子育てサポーター養成講座
市民主役事業にかかる額(単位千円):	330
R6年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	児童クラブ事業
R4年度 事業名	児童クラブ事業

総合戦略 体系	313	若くて元気のまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備
------------	-----	-------------	---------------------	----------

PLAN (計画)	部署名	子育て支援課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	放課後に昼間保護者がいない児童の健全育成を図る。				
	概要	民間保育園、施設等で放課後児童クラブの実施を委託し、事業費の補助を行う。				
	法令等 根拠	児童福祉法	実施 形態	内容 民間保育園、施設等において放課後児童クラブの実施を委託し、事業費の補助を行う。		
現在	民間等委託(全部)					

DO (実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	児童クラブ実施クラブ数	箇所	目標値	20	21	21	31	31
			実績値	21	21	22		
	成果指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	児童クラブ児童受入率(公設民営・民設民営)	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
	計算 根拠	受入者数/利用申込者数	達成率	100	100	100		
			実数値	628/628	627/627	676/676		
	ランク		A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由								

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	112,485	125,599	121,249	128,707	145,171		事業タイ	補助(県)事業
	決算額	112,485	125,599	121,249	128,707			経費区分	扶助費

DO(実施)

歳出予算	No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	3	2	9	203	児童クラブ事業費	145,171	145,171
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	145,171

補助金等	No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
	1	子ども・子育て支援交付金(国県支出金2/3)	92,694
	2	児童クラブ利用料	16,730
	3		
	4		
	5以降		
		合計	109,424

事業要員	正規職員	0.25
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	11
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
	成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒	統合
取組内容	引き続き児童クラブの利用を希望する児童が全員利用できるよう運営を行っていく。長期休暇中の児童クラブ事業(1323)を統合する。	

来年度へ向けて	R4年度の実績	令和4年度の児童クラブ実施については、30か所実施した。
	R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	R4年度は、来館する子ども達の検温、手指の消毒、マスク着用、健康チェックを徹底して行い、また館内消毒や換気等については、定期的に実施するなど感染防止対策を徹底した。R5年度はコロナ前の状況に戻りつつあり、来館数も増えているので、消毒や換気等を行いつつ実施していく。
	実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	児童クラブを運営するために必要な放課後児童支援員の資格取得に対して奨励金を給付し、児童クラブの運営に必要な人材確保と充実を図る。
	R6方向性⇒	事務改善(民間委託の導入・拡大)
	CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R6年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	鯖江市婦人福祉協議会運営補助事業
R4年度 事業名	鯖江市婦人福祉協議会運営補助事業

総合戦略 体系	313	若くて元気のまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備
------------	-----	-------------	---------------------	----------

PLAN (計画)	部署名	子育て支援課	開始年度	1969	終了年度	9999
	目的	鯖江市婦人福祉協議会の活動を支援し、婦人福祉の向上を図る。				
	概要	鯖江市婦人福祉協議会の運営費の一部を補助する。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容		
現在	補助金等交付		鯖江市婦人福祉協議会の運営費の一部を補助する。			

DO (実施)	活動指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	研修会等の実施回数		回	目標値	5	8	8	8	8
				実績値	8	7	7		
	計算 根拠	研修会等開催回数/目標値	達成率	160	87.5	87.5			
			実数値						
		ランク	A	B	B				
前年度 ランク B、Cの 理由	コロナ禍の影響もあり、研修会等の実施が減少したため。								

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	45	45	40	40	40		事業タイプ	単独事業
	決算額	45	45	40	40	40		経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	3	2	2	601	母子福祉団体等補助金	590	40	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	40

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.01
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。
(1はい・0いいえ) はい いいえ

行政が実施すべき事業か。
(1はい・0いいえ) はい いいえ

住民等のニーズは増えているか。
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)
 増加する見込み 横ばい 減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。
(1ない・0ある) ない ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。
(1ない・0ある) ない ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
9	0点~8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または 事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)
 節減できている 横ばい 増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
 向上している 横ばい 低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
 向上している 横ばい 低下している

市民団体や事業者による業務委託しているか。
(1いる・0いない) いる いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。
(1いる・0いない) いる いない

成果は目標を達成できているか。
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)
 目標を達成できている 進展している 目標に向かっていない

ACTION

今年度 R5方向性⇒

取組内容 鯖江市婦人福祉協議会の運営費の一部を補助することで、婦人福祉の向上を図る。

来年度の実績 令和4年度 研修会開催数は目標8回に対して、近隣市町会員との意見交換会等、計7回実施した。

R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題 婦人福祉協議会の活動を支援するために、新型コロナウイルス感染拡大防止対策をしながら、補助金および活動実施のための補助を行った。

実績と課題を踏まえたR6年度の変更点 県や他市町と連携しながら、研修会への参加や意見交換会等を通じて会員の資質向上に努めるよう働きかける。

R6方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名

R6年度事業名

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	地域ファミリーサービス活動費補助金
R4年度 事業名	地域ファミリーサービス活動費補助金

総合戦略 体系	142	魅力ある雇用の創出	女性が輝くまちの創造	女性の活躍支援
------------	-----	-----------	------------	---------

PLAN (計画)	部署名	子育て支援課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	地域における日常的な助け合いと連帯を強めるための活動を推進する。				
	概要	女性の社会参加支援として、会員相互援助により家事代行、老病者付き添い、子守などに取り組んでいる活動運営に対し事業補助を行う。				
法令等 根拠		実施 形態	内容	補助金申請、実績報告書のみの事務。		
現在	補助金等交付					

活動指標								
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
理事会		回	目標値	5	3	3	3	3
			実績値	3	4	4		
成果指標								
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
支援率		%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
計算 根拠	支援実績数/支援依頼数	達成率	100	100	100			
		実数値	3816/3816	4010/4010	4453/4453			
		ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	100	100	90	100	100		事業タイプ	単独事業
	決算額	100	100	90	100	100		経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	3	2	1	602	児童福祉団体等補助金	100	100	
2								
3								
4								
5以降								
合計							100	

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.01
	会計年度職員	0
	※所要時間	24

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	9
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止 維持または事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者等に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒	維持
取組内容	女性の社会参加支援として、会員相互援助により家事代行、子育てに関する事業に取り組む活動運営に対し事業補助を行うことで、市のSDGs推進の中軸となる「女性が輝くまちさばえ」の実現に向けた一助とする。	
来年度の実績	一時預かりや家事手伝いなどの支援依頼に対して、コロナ禍が続く中、4,453件のサービスを提供した。	
R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	新型コロナウイルス感染予防対策を十分にとり、支援を必要としている人に対してサービスを提供する。女性の社会参加支援として、会員相互援助により家事代行等に取組む活動に対し事業補助を行うことは重要と考える。会員が年々高齢化していることから、新たな会員募集の呼びかけを行い、団体の体力強化を図る必要がある。	
実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	広報誌等で会員募集の呼びかけを行う。	
R6方向性⇒	維持	
CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由		

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R6年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	子育て短期支援事業
R4年度 事業名	子育て短期支援事業

総合戦略 体系	312	若くて元気のまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	出産・子育ての負担軽減
------------	-----	-------------	---------------------	-------------

PLAN (計画)	部署名	子育て支援課		開始年度	2006	終了年度	9999
	目的	保護者の疾病その他の理由により児童を養育することが一時的に困難になったときに、児童福祉施設等において一定期間養育することで、児童およびその家庭の福祉の向上を図る。					
	概要	①ショートステイ事業(家庭で児童の養育ができないとき預かる)、②トワイライト事業(夕方から夜に家庭で児童の養育ができないとき預かる)					
	法令等 根拠 現在	国の次世代育成支援対策交付金事業 民間等委託(全部)	実施 形態	内容 ①ショートステイ事業(家庭で児童の養育ができないとき預かる)、②トワイライト事業(夕方から夜に家庭で児童の養育ができないとき預かる)			

DO (実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	受入事業所数(里親を1箇所として計上)	箇所	目標値		2	2	3	3
			実績値		2	3		
	成果指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	利用希望者に対する受入率	%	目標値		100	100	100	100
			実績値		100	100		
	計算 根拠	受入日数/受入希望日	達成率		100	100		
			実数値		115/115	244/244		
		ランク		A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由								

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,100	1,100	1,419	1,326	1,205		事業タイプ	補助(国)事業
	決算額	908	633	1,419	1,326			経費区分	扶助費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	3	2	9	304	子育て短期支援事業費	1,205	1,205	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	1,205

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1	子ども・子育て支援交付金(国県支出金2/3)	524
2	子育て短期支援事業納付金	413
3		
4		
5以降		
合計		937

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	12

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
合計点数	11
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善
有効性	成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) <input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度 R5方向性⇒	維持
取組内容	家庭で児童の養育ができないとき児童福祉施設等において一定期間養育し、児童およびその家庭の福祉の向上を図る。
来年度の実績	①ショートステイ事業 延べ240日②トワイライト事業 4日利用
R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	児童の養育が一時的に困難になった時に事業を活用できるよう、施設との連絡調整をスムーズに行い、受け入れていく。 3歳未満の子どもの受入が難しい施設状況にあり、里親委託を実施できるような体制を整える。
実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	特になし
R6方向性⇒	維持
CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
---------	-------------------	---

R6年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
---------	-------------------	---

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	地域で育む子育て支援ネットワーク事業
R4年度 事業名	地域で育む子育て支援ネットワーク事業

総合戦略 体系	313	若くて元気なまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備
------------	-----	-------------	---------------------	----------

PLAN (計画)	部署名	子育て支援課	開始年度	2006	終了年度	9999
	目的	地域の子育て支援関係団体および関係機関が公民館単位ごとに「地区子育て支援ネットワーク委員会」を設置することにより、地域の実情に合わせた地区ぐるみの子育て支援のあり方を協議し、関係団体、関係機関で実施している事業を調整し、子育てしやすい環境づくりのため連携し協力し合い事業を展開する。				
	概要	地区ごとに「地区子育てネットワーク委員会」を設置し、地域における子育て支援ネットワークを構築していくために、子育て支援ネットワークが実施する子育て支援事業に係る費用の一部を委託する。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容		
現在	民間等委託(一部)		地区子育て支援ネットワーク事業に係る費用の一部を委託する。			

DO (実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	地区ネットワーク委員会設置個所数	地区	目標値	10	10	10	10	10
			実績値	10	10	10		
	成果指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	ネットワーク委員会開催数	回	目標値	100	100	100	150	150
			実績値	117	102	114		
	計算 根拠	ネットワーク委員会延開催数/目標値	達成率	117	102	114		
			実数値					
		ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由								

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	2,000	1,000	1,800	1,800	1,800		事業タイ	単独事業
	決算額	2,000	1,000	1,797	1,800			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	3	2	9	205	地域で育む子育て支援ネットワーク事業費	1,800	1,800	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	1,800

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	1
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input checked="" type="radio"/> 節減できている <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
合計点数	12
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善

ACTION

今年度 R5方向性⇒	維持
取組内容	安心して子供を生み育てる地域社会をつくるため、各地区10ヶ所にある地域で育む子育て支援ネットワーク委員会に対し、事業の委託を行う。委託を行うことで、子育てに関するスキルアップを図り、ネットワーク委員や各地区のCOSAPOとの相互連携強化、保健師、保育士を交えた活動を推進する。
来年度へ向けて R4年度の実績	R3年度から、これまで子育て支援センター職員が出走行っていた、鯖江、片上、立待、吉川、豊地区の「子育てひろば」を地区子育て支援ネットワーク委員会に委託して行っており、R4年度も同様に委託した。そのほか各地区公民館単位で、地域ぐるみのさまざまな子育て支援事業を企画実施し、参加者数2,019名となった。
R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	各地区の特徴ある子育て支援活動を企画し、地区単位でのきめ細かい事業を目指すことが重要。事業を実施するにあたり、ホームページやフェイスブック等による情報発信に努める。
実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	より広く情報を届けるため、市の公式ラインを活用しやすい仕組みづくりを行う
R6方向性⇒	事務改善(手段・サービス水準の見直し)
CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R6年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	ハーフバースデイ事業			
R4年度 事業名	ハーフバースデイ事業			
総合戦略 体系	313	若くて元気のまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備

PLAN (計画)	部署名	子育て支援課	開始年度	2016	終了年度	9999
	目的	生後6か月の幼児と母親をハーフバースデイ事業に招待し、同じ月齢の子どもを持つ子育て家庭同士の交流を通し情報交換することで育児不安の解消を図る。				
	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で育む子育て支援ネットワーク委員会(各地区の民生委員・子育て推進委員・愛育会等で構成)と協働でハーフバースデイ事業を実施する。 ・ハーフバースデイ事業は、育児に関してベテランの同委員会のメンバーが、各地区の実情に合わせて趣向を凝らした催しをとおし、子育てのノウハウを育児世代に伝えていく。 ・親子の観察等を通じて、育児訪問事業へ繋げる。 				
	法令等 根拠		実施 形態	内容		
現在	市直営		同じ月齢(生後6か月)の子どもを持つ子育て家庭同士の交流を通し情報交換することで育児不安の解消を図る。			

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	ハーフバースデイ参加率		%	目標値	92	92	92	92	92
				実績値	95.2	95.8	95.8		
	計算 根拠	参加者数/該当者数		達成率	103.5	104.1	104.1		
				実数値	374/393	384/401	458/478		
			ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	783	757	777	665	794		事業タイプ	単独事業
	決算額	711	650	752	658			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	3	2	9	201	地域子育て支援センター事業費	36,325	794	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	794

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1	子ども・子育て支援交付金(国1/3 県1/3)	528
2		
3		
4		
5以降		
合計		528

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	0.5
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
合計点数	12
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善

ACTION

今年度 R5方向性⇒	維持
取組内容	生後6ヶ月の赤ちゃんとその保護者に対して、鯖江市内10地区で実施している子育て支援ネットワーク委員会主催のハーフバースデー事業への参加を促し、同じ月齢の子どもを持つ子育て家庭同士の交流・情報交換することで育児不安の解消を図る。
来年度の実績	R4年度 参加率95%。ハーフバースデー事業を実施するなかで気がかりな児童、家庭に対し、育児支援を行った。
R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	約5%の家庭が未確認。全数フォローできない状況が続いている。関係機関と情報を共有し育児訪問事業で全数フォローするよう努める。
実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	各地区委員会とも情報を共有し、活動を情報発信することで、各地区での事業参加の声掛けをして子育て状況を確認し地域での支援を深める。
R6方向性⇒	事務改善(手段・サービス水準の見直し)
CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R6年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	養育支援訪問事業
R4年度 事業名	養育支援訪問事業

総合戦略 体系	313	若くて元気のまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備
------------	-----	-------------	---------------------	----------

PLAN (計画)	部署名	子育て支援課	開始年度	2016	終了年度	9999
	目的	家庭訪問による養育に関する指導を行うことにより、若年の妊婦、育児不安、支援者希薄などの気がかり家庭や児童虐待予防を目的とする。				
	概要	毎月家庭訪問し、育児状況を確認しながら相談援助を行う。				
	法令等 根拠 現在	国の次世代育成支援交付金対象事業 補助金等交付	実施 形態	内容 子ども・子育て支援交付金の助成により、養育支援訪問を行い、家庭訪問による相談援助を行う。		

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	養育支援訪問件数		%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	100		
	計算 根拠		養育支援訪問件数/養育支援訪問必要件数	達成率	100	100	100		
				実数値	90/90	106/106	146/146		
			ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	2,764	2,916	2,249	1,199	1,400		事業タイプ	補助(国)事業
	決算額	1,668	607	332	865			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	3	2	9	201	地域子育て支援センター事業費	36,325	1,400	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	1,400

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1	子ども・子育て支援交付金(国県支出金)	532
2		
3		
4		
5以降		
合計		532

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	0.5
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
合計点数	13
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善

ACTION

今年度 R5方向性⇒	維持
取組内容	健康づくり課、子育て支援センターとの連携を密にしながら、子育てに対する不安感負担感の解消を図るため家庭訪問を行い、児童虐待の早期発見や予防に努める。
来年度へ向けて	R4年度の実績 家庭訪問を行うなかで、気がかりな児童、家庭に対し、育児支援を行った。また、継続的な支援を必要とする家庭には、ケース会議を通して各関係機関と連携してきめ細やかな支援を行った。
	R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題 今後も、あらゆる関係機関との連携を深めながら相談支援を行う。
	実績と課題を踏まえたR6年度の変更点 これまで以上に健康づくり課との連携を密にとり、対象家庭に適した訪問担当者について協議し育児訪問事業を実施する。フォロー対象の家庭に対しては情報を共有しながら最善な支援策を進める。
R6方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R6年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	ひとり親家庭等児童学習支援事業
R4年度 事業名	ひとり親家庭等児童学習支援事業

総合戦略 体系	313	若くて元気のまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備
------------	-----	-------------	---------------------	----------

PLAN (計画)	部署名	子育て支援課	開始年度	2018	終了年度	9999
	目的	ひとり親家庭および生活困窮世帯の児童は、精神面や経済面で不安定な状況におかれることにより、学習の意欲が低下したり、十分な教育が受けられず、児童の将来に不利益な影響を与えかねない。このため、学習ボランティアによる学習の支援や、気軽に進学相談等を受けられる場所（児童の居場所づくり）等を整えることにより、児童の健全育成と自立を促進する。				
	概要	民間団体に委託し、定期的に学習会を開催する。また、レクリエーション活動を通して、児童の居場所を提供する。				
	法令等 根拠	鯖江市ひとり親世帯等学習支援事業実施要綱	実施 形態	内容 母子寡婦福祉団体と連携している団体に委託し事業を実施する		
現在	民間等委託(全部)					

DO (実施)	活動指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	開催数		回	目標値	160	220	290	290	290
				実績値	364	225	317		
	計算 根拠	2020～集合型学習、遠隔学習の合計を算出	達成率	227.5	102.2	109.3			
			実数値						
		ランク	A	A	A				
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	3,900	5,300	5,400	5,900	6,600		事業タイプ	補助(県)事業
	決算額	3,780	4,459	3,685	4,744			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	3	2	2	201	母子福祉等事務諸経費	11,943	6,600	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	6,600

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1	母子家庭等対策総合支援事業補助金(県3/4)	4,950
2		
3		
4		
5以降		
合計		4,950

事業要員	正規職員	0.05
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
合計点数	12
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善

ACTION

今年度 R5方向性⇒	維持
取組内容	毎年、登録児童数が約30名おり、参加する保護者とも継続利用を望む声が多い。会場を4ヵ所(各中学校区に1か所および立待公民館)にて、学習会を開催する。
来年度の実績	R4年度 鯖江市内4会場で、年間259回集合型学習会を開催し、延べ1,090人、遠隔学習では58回、延58人の児童が参加した。
R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	新型コロナウイルスをきっかけに開始した、ITを活用した遠隔学習を継続して実施した。また、会場を1か所増やし(立待公民館)、より多くの児童の学習の場を提供することができた。令和5年度も全4か所の会場および遠隔学習を継続していく。
実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	今後も場所を選ばない遠隔学習を継続して実施。
R6方向性⇒	維持
CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
---------	-------------------	---

R6年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
---------	-------------------	---

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	子育て支援センター一時預かり事業
R4年度 事業名	子育て支援センター一時預かり事業

総合戦略 体系	313	若くて元気のまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備
------------	-----	-------------	---------------------	----------

PLAN (計画)	部署名	子育て支援課	開始年度	2018	終了年度	9999
	目的	保育所などを利用していない家庭においても、日常生活上の突発的な事情や社会参加などにより、一時的に家庭での保育が困難となる場合がある。現在、鯖江市においては保育所等で一時預かり事業を行っているが、希望者が多く、子育て家庭のニーズにこたえられない場合があるので、子育て支援センターで一時預かりを実施する。				
	概要	子育て支援センターの移転に伴い、一時預かり室を設置。一時預かり担当をCOSAPOに依頼し、一時預かり室やなかよし一むにて託児を行う。平日の9:00～12:00、13:00～16:00にそれぞれ定員3名で実施。				
	法令等 根拠	国の次世代育成支援対策交付金事業	実施 形態	内容		
	現在	市直営		COSAPOに協力を依頼し、一時預かり事業を実施する。		

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	制度の周知活動		回	目標値	12	12	12	12	12
				実績値	12	12	12		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	利用者数		人	目標値	200	250	400	700	750
				実績値	406	586	726		
	計算 根拠			達成率	203	234.4	181.5		
				実数値					
		ランク	A	A	A				
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	750	1,002	1,260	1,770	2,308		事業タイプ	補助(国)事業
	決算額	678	495	1,169	1,770			経費区分	人件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	3	2	9	207	子育て支援センター一時預かり事業費	2,308	2,308
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	2,308

補助金等	No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
	1	子ども・子育て支援交付金(国県支出金2/3)	590
	2	子育て支援センター一時的保育事業納付金	180
	3		
	4		
	5以降		
		合計	770

事業要員	正規職員	0
	会計年度職員	0.1
	※所要時間	0

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) はい いいえ

行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) はい いいえ

住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) 増加する見込み 横ばい 減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) ない ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) ない ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
10	0点~8点	事務改善または廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) 節減できている 横ばい 増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) 向上している 横ばい 低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) 向上している 横ばい 低下している

市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない) いる いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) いる いない

成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) 目標を達成できている 進展している 目標に向かっていない

ACTION

今年度 R5方向性⇒

取組内容 一時預かりの利用者数の増加に伴い、月20人を超える申し込みがあるため、今後も毎日一時預かりを実施し、子育て家庭の育児負担感の軽減を図っていく。

来年度の実績 R4年度はハーフバースデイ事業の際に子育て「ほっと一息」応援事業で一時預かり無料券を配布し、子育て負担の軽減と、事業の周知を図った。一時預かり利用者数586名・コロナワクチン接種のため一時預かりを利用する場合無料とし、受け入れを行う。(586名中22名)

R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題
R3年度は、預かりを希望する家庭すべての受け入れを行った。
R4年度より第2第3子の一時預かりが無料化となり、預かりを希望する保護者が増加。COSAPOの協力を得ながら事業を実施した。R5年度も増加が予想される。さらにCOSAPOの協力が必須となるので連携を強化し担当者の確保に努めていきたい。

実績と課題を踏まえたR6年度の変更点
一時預かり利用者数の数を見ながら、一時預かりの受け入れについて、更なるCOSAPOの協力と職員の役割分担の中で工夫し対応する。

R6方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】					
年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	<input type="text" value="市民役事業にかかる額(単位千円):"/>	<input type="text" value="0"/>
R6年度事業名	<input type="text" value="市民役事業にかかる額(単位千円):"/>	<input type="text" value="0"/>

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	ひとり親家庭の子育て安心プラン事業
R4年度 事業名	ひとり親家庭の子育て安心プラン事業

総合戦略 体系	312	若くて元気のまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	出産・子育ての負担軽減
------------	-----	-------------	---------------------	-------------

PLAN (計画)	部署名	子育て支援課	開始年度	2019	終了年度	9999
	目的	ひとり親家庭の経済的負担を軽減するために、高等学校等に在学している児童の通学のための公共交通機関の定期券購入費用を助成する。				
	概要	市外の高等学校等に通学している児童の公共交通機関の定期券購入費用。ただし、児童1人につき、1ヵ月当たりの上限は1万円とし、助成期間の上限は36ヵ月間とする。				
	法令等 根拠 現在	鯖江市ひとり親家庭高校生の通学定期代助成事業実施要綱 市直営	実施 形態	内容 ひとり親家庭の保護者から申請書等を提出してもらい支給する。		

活動指標								
指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
制度の周知活動			目標値		2	2	2	2
			実績値		2	2		
成果指標								
指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
助成件数		件数	目標値		100	110	110	110
			実績値		100	110		
計算 根拠			達成率		100	100		
			実数値		107/107	99/99		
			ランク		A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	4,200	2,500	3,122	3,400	3,100		事業タイ	補助(県)事業
	決算額		2,439	3,122	3,082			経費区分	扶助費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	3	2	2	307	ひとり親家庭の子育て安心プラン事業	3,100	3,100
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	3,100

補助金等	No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
	1	ひとり親家庭の子育て安心プラン事業費補助金	1,550
	2		
	3		
	4		
	5以降		
		合計	1,550

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	0.1
	※所要時間	0

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	10
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
	成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒	維持
取組内容	市内の高等学校等に通学している児童の公共交通機関の定期券購入費用の1/2を助成する。(ただし、児童1人につき、1ヶ月あたり上限10,000円)	
来年度へ向けて	R4年度の実績	市内の高等学校等に通学している児童の公共交通機関の定期券購入費用について、適正に審査および助成金の支給を行った。令和4年度 助成件数99件
	R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	申請数が増加傾向にあることを踏まえ、利便性を図るためデジタル技術を取り入れるなど、業務プロセスの改善について検討したい。
	実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	電子申請化の検討を行う。また併せて審査、支払い事務の効率化の検討も行う。
	R6方向性⇒	事務改善(業務プロセスの改善)
	CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R6年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	家庭育児応援手当事業
R4年度 事業名	家庭育児応援手当事業

総合戦略 体系	312	若くて元気のまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	出産・子育ての負担軽減
------------	-----	-------------	---------------------	-------------

PLAN (計画)	部署名	子育て支援課	開始年度	2020	終了年度	9999
	目的	保育所等を利用せず、自宅で第2子以降の0歳児から2歳児を育てている世帯に対し、給付金を支給し、経済的負担軽減を図る。				
	概要	保育所等を利用せず、自宅で第2子以降の0歳児から2歳児を育てている世帯に対し、その第2子以降の児童1人につき月1万円を支給する。				
法令等 根拠	鯖江市家庭育児応援手当支給要綱	実施 形態	内容			
現在	市直営					

DO (実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	制度の周知活動		目標値		5	3	3	3
			実績値		5	1		
	成果指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	支給率		目標値		100	100	100	100
			実績値		100	100		
	計算 根拠	支給決定数/支給要件適合者申請数×100	達成率		100	100		
			実数値		15/15	12/12		
		ランク		A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由								

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額		4,260	3,627	8,760	1,369		事業タイ	補助(県)事業
	決算額		150	860	740			経費区分	扶助費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	3	2	1	302	家庭育児応援手当支給事業費	1,369	1,369	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	1,369

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1	ふくい在宅育児応援手当支給事業費補助金	500
2		
3		
4		
5以降		
合計		500

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	0
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	9
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input type="radio"/> 目標を達成できている <input checked="" type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度 R5方向性⇒	維持
取組内容	保育所等を利用せず、自宅で第2子以降の0歳児から2歳児を育てている世帯に対し、給付金を支給する。
来年度の実績	令和4年度 助成件数12件
R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	申請が少ないため、引き続き、広報等による周知を行う。
実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	広報さばえの掲載や支援センターへチラシを配布して、引き続き、周知を行う。また、令和6年度から所得制限が撤廃されることが検討されているため、システム改修等の予算措置を検討する。
R6方向性⇒	事務改善(手段・サービス水準の見直し)
CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R6年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	子育てサポーター養成講座事業
R4年度 事業名	子育てサポーター養成講座事業

総合戦略 体系	313	若くて元気のまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備
------------	-----	-------------	---------------------	----------

PLAN (計画)	部署名	子育て支援課	開始年度	2021	終了年度	9999
	目的	地域の中で子育てのサポートを受けられる環境づくりのために、子育て支援を行うことができるボランティア(子育てサポーター)を養成する講習会を開催し、地域の子どもは地域の中で育てていくという機運を醸成する。				
	概要	子育て支援センター事業 子育てサポーター養成講座 【内容】仕事や子育てを終えた高齢者やシニア世代をはじめ、子育て世代にも対象として子育てに関する講習会を開催し、受講修了者は子育てマイスターやCOSAPOとして登録し、地域の子育て支援活動先へつなぐ。 【対象】子育て世代、高齢者、シニア世代等 【場所】子育て支援センター				
	法令等 根拠		実施 形態	内容		
現在	民間等委託(全部)		子育てサポーター養成講座を子育てサポーターの会「COSAPO」に委託して実施する			

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	周知回数			目標値		2	2	2	2
				実績値		2	2		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	養成講座開催数		回	目標値		5	10	10	10
				実績値		10	10		
	計算 根拠			達成率		200	100		
				実数値			10/10		
		ランク		A	A				
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額			330	330	330		事業タイ	補助(県)事業
	決算額			330	330			経費区分	補助費等

No	款	項	目	事業	R5年度事業名		予算書額	うち事業額(千円)	
1	3	2	9	201	地域子育て支援センター事業費		36,325	330	
2									
3									
4									
5以降									
								合計	330

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	0.1
	※所要時間	

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	12
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善
	9点~16点
	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input checked="" type="radio"/> 節減できている <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒	維持
取組内容	子育てサポーター養成講座を子育てサポーターの会COSAPOに委託し、前期・後期、実習を含む5講座ずつ開催する。	
来年度へ向けて	R4年度の実績	コロナ禍の中、感染防止対策を講じながら前期・後期、実習を含む5講座ずつ開催。
	R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	情報発信として、広報紙・新聞での記事掲載を行い受講生を募集した。また、令和4年度は提案型市民主役事業により実施し、実行委員を若手の委員に依頼した結果、地域の子育て支援の人材育成とともに、若いパパママへの講座としても広く情報発信を行いつつある。子育て世代同士のピアカウンセリングの中心人物としての人材育成の講座としても今後講座内容も検討していく。 また、子育てサポーターに登録した会員の高齢化やコロナの影響もあり退会する会員がみられることや、養成講座受講者の減少もあり、新規会員が例年より少なかった。
	実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	養成講座の情報発信方法や受講対象者の見直しを行い、幅広い年齢層の受講者を募集していくことが会員増につながると考える。また、R6年度は遊び場づくりと一体化したイベントを開催することで、受講生の実習の場やサポーターのスキルアップの場とする。なお、子どもの遊び場づくり事業(3795)を統合する。
	R6方向性⇒	事務改善(他事業との連携・統合)
	CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択		不可能	可能	可能	可能
実施状況		未実施	実施	実施	未実施

R5年度事業名	子育てサポーター養成講座
	市民主役事業にかかる額(単位千円): 330
R6年度事業名	
	市民主役事業にかかる額(単位千円): 0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	子育て家庭総合支援拠点事業
R4年度 事業名	子育て家庭総合支援拠点事業

総合戦略 体系	312	若くて元気のまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	出産・子育ての負担軽減
------------	-----	-------------	---------------------	-------------

PLAN (計画)	部署名	子育て支援課	開始年度	2021	終了年度	9999
	目的	子ども家庭総合支援拠点の設置により、18歳までの児童とその家庭および妊産婦を対象に、子育てに対する不安や悩み、虐待等の電話・来所・家庭訪問等により相談支援を行う。 発達上気がかりな児童に対して、個々の発達に応じた支援を実施するとともに、保護者に対して、少しでも早い時期から子どもの発達特性に応じた適切な環境や接し方の工夫を助言し、支援する。				
	概要	専門的な知識を有する職員が、18歳までの児童とその家庭および妊産婦を対象に、育児やしつけ、子育てに対する不安や悩みだけでなく、虐待以外の家庭内の問題に対し、電話や来所面接、訪問支援を中心とした継続的な業務を実施する。また、幼児発達支援事業においては、ことばの遅れ、落ち着きがないなど発達上気がかりな児童に対して個々の発達に応じた支援を実施するとともに、保護者に対しては少しでも早い時期から子どもの発達特性に気づかせ、一人一人に応じた、適切な環境と接し方の工夫を助言し、支援を実施する。				
	法令等 根拠	児童福祉法	実施 形態	内容		
現在	市直営		保健師等の専門スタッフが発達に関する相談に応じる。			

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	拠点数		箇所	目標値		1	1	1	1
				実績値		1	1		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	のびのび教室開催数		回	目標値		12	36	36	36
				実績値		14	31		
	計算 根拠			達成率		116.7	86.1		
				実数値					
	相談活動日数		日	目標値		250	250	250	250
				実績値		254	257		
	計算 根拠			達成率		101.6	102.8		
				実数値					
				ランク		A	B		
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額			3,577	10,007	9,147		事業タイプ	補助(国)事業
	決算額			1,268	10,007			経費区分	補助費等

No	款	項	目	事業	R5年度事業名			
					予算書額	うち事業額(千円)		
1	3	2	9	201	地域子育て支援センター事業費	36,325	9,147	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	9,147

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1	児童虐待・DV対策等総合支援事業補助金(国1/2)	4,071
2		
3		
4		
5以降		
合計		4,071

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	0.4
	※所要時間	

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	9
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2削減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 削減できている <input type="radio"/> 横ばい <input checked="" type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度 R5方向性⇒	維持
取組内容	子ども家庭総合支援拠点で18歳までの児童とその家庭および妊産婦を対象に、子育てに対する不安や悩み、虐待以外の家庭内の問題に対して、電話や来所面接、訪問支援等継続的な業務を実施する。また、幼児発達支援事業については、ことばの遅れ落ち着きがない等、発達に気がかりな児童に対して個々の発達に応じた支援を行う。保護者に対しても少しでも早い段階から子どもの発達の特性について気づき、接し方の工夫やその他サービスへの繋ぎなど相談に応じる。
来年度へ向けて R4年度の実績	子育て支援センターでの総合相談における電話相談は45件、来所相談が6件、出張相談138件、支援事業での相談が68件、またことばの相談が72件と多くの相談があり、丁寧な対応を行った。
R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	今後も今までどおりあらゆる関係機関との連携を深めながら相談体制をとっていく。また、ことばの教室の個別対応も今年度より開催し、広く年齢を超え対応していく。
実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	特になし
R6方向性⇒	維持
CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択		不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況		未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R6年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	子どもの遊び場づくり事業費
R4年度 事業名	子どもと親の遊び場・学び場づくり事業費

総合戦略 体系	313	若くて元気のまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備
------------	-----	-------------	---------------------	----------

PLAN (計画)	部署名	子育て支援課	開始年度	2022	終了年度	2023
	目的	親と子が遊べる機会が減っていることから、天候に関わらず、子どもたちが安心して遊べる場所や、子育て親子の交流や様々な体験ができる遊びの場を作る。				
	概要	SDGsフェスの開催に併せて総合体育館で子どもの遊び場フェスを開催する。				
	法令等 根拠 現在	民間等委託(全部)	実施 形態	内容	SDGsフェスの開催に併せて総合体育館で子どもの遊び場フェスを開催する。	

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	イベント開催周知回数		回	目標値			2	4	4
				実績値			2		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	参加親子数		人数	目標値			50	100	100
				実績値			1,920		
	計算 根拠			達成率			3,840		
				実数値					
		ランク				A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額				350	350		事業タイプ	単独事業
	決算額				300			経費区分	その他

No	款	項	目	事業	R5年度事業名			
					予算書額	うち事業額(千円)		
1	3	2	9	209	子どもの遊び場づくり事業費	350	350	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	350

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	0
	※所要時間	

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	12
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input checked="" type="radio"/> 節減できている <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒	維持
取組内容	天候に関わらず、子どもたちが安心して遊べる場所や、子育て親子の交流や様々な体験ができる場を設けることを積極的に周知し、家庭ではできない遊びを提供する。	
来年度へ向けて	R4年度の実績	天候に関わらず、子どもたちが安心して遊べる場所や、子育て親子の交流など様々な体験ができる遊びの場を提供した。提案型市民役事業で事業を委託し、家ではできないスペースで遊べるコーナーやいらなくなったもので創作できるコーナーなど、様々な遊びや学びができるコーナーを設け、いろんな親子に体験や楽しい時間をすごしてもらい、二日間の開催で1,920名の来場があった。
	R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	子育て支援センターや子育て支援団体と協働して子どもの遊び場づくりを定期的実施できるように検討する。
	実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	子育てサポーター養成講座事業(3723)と統合する。
	R6方向性⇒	事務改善(他事業との連携・統合)
	CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択			可能	不可能	不可能
実施状況			実施	未実施	未実施

R5年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R6年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	赤ちゃん訪問おむつ券配布事業
R4年度 事業名	赤ちゃん訪問おむつ券配布事業

総合戦略 体系	312	若くて元気のまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	出産・子育ての負担軽減
------------	-----	-------------	---------------------	-------------

PLAN (計画)	部署名	子育て支援課	開始年度	2022	終了年度	9999
	目的	おむつ(助成券)を配布することで子育て世帯への経済的負担を軽減する。また、訪問の際、育児相談等を行い、保護者の不安解消に努める。				
	概要	生後4か月および7~8か月の乳児宅に保健師等が家庭訪問する際に、契約している市内のおむつ販売店舗で使用できるおむつ助成券を配布する。				
法令等 根拠		実施 形態	内容			
現在	民間等委託(一部)		赤ちゃん訪問時に在宅保健師等がおむつ配布も併せて行う。			

DO (実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	おむつを受け取った割合	%	目標値			100	100	100
			実績値			100		
	成果指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	おむつ配布を良かったと思った人の割合	%	目標値			80	80	90
			実績値			81.3		
	計算 根拠	「よかった」/アンケート回答数を選んだ人数	達成率			101.6		
			実数値			113/139		
		ランク			A			
前年度 ランク B、Cの 理由								

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額				2,400	2,436		事業タイプ	補助(国)事業
	決算額				2,071			経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	3	2	9	210	子ども子育てトータルサポート事業費	7,123	2,436
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	2,436

補助金等	No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
	1	母子保健事業補助金(国1/2)	493
	2		
	3		
	4		
	5以降		
		合計	493

事業要員	正規職員	0.2
	会計年度職員	0.5
	※所要時間	

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	12
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
	成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒	事務改善(手段・サービス水準の見直し)
取組内容	生後4か月および9~11か月の乳児宅に保健師等が家庭訪問する際に、市内のおむつ販売店舗で使用可能なおむつ助成券を配布することで、経済的負担を軽減する。また、育児相談等を行い、保護者の不安解消に努める。	
来年度へ向けて	R4年度の実績	家庭訪問を断った方についても連絡を取り、おむつを直接お渡しすることで対象者におむつ現品の配布ができた。
	R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	おむつ現品はかさばるため保管が難しく、おむつの種類も限られていたため、R5年度からは、保健師の負担軽減と利用者の利便性を図るため、おむつ等の購入助成券を配布して、子育て世帯の経済的負担を少しでも軽減する。
	実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	特になし。今後の動向で課題点等が見つかれば改善する。
	R6方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択			不可能	不可能	不可能
実施状況			未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
---------	-------------------	---

R6年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
---------	-------------------	---

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	絵本購入補助事業			
R4年度 事業名	絵本購入補助事業			
総合戦略 体系	312	若くて元気のまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	出産・子育ての負担軽減

PLAN (計画)	部署名	子育て支援課	開始年度	2022	終了年度	9999
	目的	1歳6か月の乳児を持つ保護者に対し、絵本を購入できる図書カードを配布し、親子の触れ合いの時間に活用してもらう。				
	概要	1歳半健診時に、絵本等を購入できる図書カード(1千円分)を贈呈する。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容		
現在	市直営		直接、図書カードを配布することで、保護者に絵本の大切さを伝えることができる。			

DO (実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	図書カードを受け取った割合		目標値			100	100	100
			実績値			100		
	成果指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	図書カード配布を良かったと思った人の割合	%	目標値			80	80	85
			実績値			94.4		
	計算 根拠	アンケート調査にて、「満足」・「やや満足」と回答した結果	達成率			118		
			実数値			67/71		
		ランク			A			
前年度 ランク B、Cの 理由								

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額				600	580		事業タイ	単独事業
	決算額				520			経費区分	その他

No	款	項	目	事業	R5年度事業名			
					予算書額	うち事業額(千円)		
1	3	2	9	210	子ども子育てトータルサポート事業費	7,123	580	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	580

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	0.1
	※所要時間	

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。
(1はい・0いいえ) はい いいえ

行政が実施すべき事業か。
(1はい・0いいえ) はい いいえ

住民等のニーズは増えているか。
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)
 増加する見込み 横ばい 減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。
(1ない・0ある) ない ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。
(1ない・0ある) ない ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
9	0点~8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または 事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)
 節減できている 横ばい 増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
 向上している 横ばい 低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
 向上している 横ばい 低下している

市民団体や事業者に業務委託しているか。
(1いる・0いない) いる いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。
(1いる・0いない) いる いない

成果は目標を達成できているか。
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)
 目標を達成できている 進展している 目標に向かっていない

ACTION

今年度 R5方向性⇒

取組内容 1歳半健診時に絵本を購入できる図書カードおよびおすすめ絵本を紹介したチラシを配布し、親子の触れ合いの時間に活用してもらう。

来年度の実績 R4年度 健診に来られた方に配布し、ほとんどの方が絵本を購入に使用し、親子のふれあいの機会に活用いただけた。また、アンケートを通じて絵本と触れ合う機会の頻度など、現状を知ることができた。

R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題 図書カード配布について、おおむね満足いただいているので、継続していく。

実績と課題を踏まえたR6年度の変更点 特になし。また、昨年同様アンケートをとり、結果を踏まえて来年度以降に生かしていきたい。

R6方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択			不可能	不可能	不可能
実施状況			未実施	未実施	未実施

R5年度事業名

R6年度事業名

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	祝小学1年生入学おめでとう事業
R4年度 事業名	祝小学1年生入学おめでとう事業

総合戦略 体系	312	若くて元気のまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	出産・子育ての負担軽減
------------	-----	-------------	---------------------	-------------

PLAN (計画)	部署名	子育て支援課	開始年度	2022	終了年度	9999
	目的	新小学1年生の保護者を対象に、商品券を配布することで子育て世帯への経済的負担を軽減する。				
	概要	小学校入学式に、入学祝いとして、5千円分相当の商品券を贈呈する。				
法令等 根拠		実施 形態	内容	小学校入学式に、入学祝いとして、5千円分相当の商品券を贈呈する。		
現在	市直営					

DO (実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	商品券を受け取った割合		目標値			100	100	100
			実績値			100		
	成果指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	商品券配布を良かったと思った人の割合	%	目標値			80	80	90
			実績値			95.5		
	計算 根拠	アンケート回答にて、「満足・やや満足」/回答数×100	達成率			119.4		
			実数値			317/332		
		ランク			A			
前年度 ランク B、Cの 理由								

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額				3,050	3,160		事業タイプ	単独事業
	決算額				3,050			経費区分	その他

No	款	項	目	事業	R5年度事業名			
					予算書額	うち事業額(千円)		
1	3	2	9	210	子ども子育てトータルサポート事業費	7,123	3,160	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	3,160

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.05
	会計年度職員	0
	※所要時間	

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) はい いいえ

行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) はい いいえ

住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) 増加する見込み 横ばい 減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) ない ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) ない ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
10	0点~8点	事務改善または廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) 節減できている 横ばい 増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) 向上している 横ばい 低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) 向上している 横ばい 低下している

市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない) いる いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) いる いない

成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) 目標を達成できている 進展している 目標に向かっていない

ACTION

今年度 R5方向性⇒

取組内容 小学校入学式に、入学祝いとして、新小学1年生の保護者を対象に5千円分相当の商品券を贈呈することで子育て世帯への経済的負担を軽減する。

来年度へ向けて R4年度の実績 小学校の入学式で配布し、市外通学者に対しても案内を送付し、贈呈することができた。また、アンケートを通じて、商品券の使用用途など現状を知ることができた。

R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題 R4年度、商品券は福井市の業者に発注したため、商品券の購入場所について、鯖江市内で購入できないか検討する。引き続き、アンケートをとり意見を集約したい。

実績と課題を踏まえたR6年度の変更点 商品券の購入について検討する。また、アンケートの結果を踏まえて来年度以降に生かしていきたい。

R6方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択			不可能	不可能	不可能
実施状況			未実施	未実施	未実施

R5年度事業名

R6年度事業名

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	パパママ育児応援事業			
R4年度 事業名	パパママ育児応援事業			
総合戦略 体系	312	若くて元気のまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	出産・子育ての負担軽減

PLAN (計画)	部署名	子育て支援課	開始年度	2022	終了年度	9999
	目的	男性が育児を主体的にできるように育児のやり方を学ぶ場、相談できる場を設けて女性の育児負担を軽減する。				
	概要	妊娠中または子育て中のパパママを対象に、パパママ育児応援教室や新米パパママ教室にて、悩み相談や育児に関するミニ講座・妊婦体操等を実施する				
法令等 根拠		実施 形態	内容			
現在	市直営		市直営で行うが、教室の一部については、子育てサポーター等に依頼する。			

DO (実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	教室開催回数	回	目標値			6	8	8
			実績値			8		
	成果指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	教室に満足した人の割合	%	目標値			80	80	80
			実績値			100		
	計算 根拠	アンケート調査	達成率			125		
			実数値					
		ランク			A			
前年度 ランク B、Cの 理由								

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額				150	161		事業タイプ	
	決算額				140			経費区分	

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	3	2	9	210	子ども子育てトータルサポート事業費	7,123	161	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	161

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1	子ども・子育て支援交付金(国1/3 県1/3)	107
2		
3		
4		
5以降		
合計		107

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	0.3
	※所要時間	

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) はい いいえ

行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) はい いいえ

住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) 増加する見込み 横ばい 減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) ない ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) ない ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
10	0点~8点	事務改善または廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) 節減できている 横ばい 増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) 向上している 横ばい 低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) 向上している 横ばい 低下している

市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない) いる いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) いる いない

成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) 目標を達成できている 進展している 目標に向かっていない

ACTION

今年度 R5方向性⇒ 維持

取組内容 妊娠中または子育て中のパパママを対象に、パパママ育児応援教室や新米パパママ教室にて、悩み相談や育児に関するミニ講座・妊婦体操等を実施する。

来年度の実績 R4年度ファミリーデーを年6回、ダイバーシティ推進相談課女性活躍推進G、健康づくり課との協働の新米パパママ教室を4回実施した。

R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題 土曜日開催のファミリーデーが好評だったため、令和5年度は毎週土曜日をファミリーデーと銘打ち、イベントを実施したい。新米パパママ教室は例年どおり実施の予定

実績と課題を踏まえたR6年度の変更点 悩み相談や育児に関するミニ講座、妊婦体験の実施など事業内容の充実を図り、開催回数を増やして実施する。

R6方向性⇒ 事務改善(手段・サービス水準の見直し)

CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択			不可能	不可能	不可能
実施状況			未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	トイトレトレーニング講座事業			
R4年度 事業名	トイトレトレーニング講座事業			
総合戦略 体系	312	若くて元気のまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	出産・子育ての負担軽減

PLAN (計画)	部署名	子育て支援課	開始年度	2022	終了年度	9999
	目的	子育て中の親子のトイトレトレーニングを支援することで、育児負担を軽減する。				
	概要	トイトレトレーニングをしている親子を対象に、各地区子育て支援ネットワーク委員会が実施している事業と共同で、各地区公民館にて、トイトレトレーニング講座を開催する。				
法令等 根拠		実施 形態	内容			
現在	民間等委託(全部)		各地区子育て支援ネットワーク委員会が実施している事業と共同で、各地区公民館にて、トイトレトレーニング講座を開催する。			

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	講座実施回数		回	目標値			10	20	20
				実績値			10		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	講座実施回数 ※～2023年度		%	目標値			10	20	
				実績値			10		
	計算 根拠			達成率			100		
				実数値					
	講座に満足した人の割合 ※2024年度～		%	目標値					90
				実績値					
	計算 根拠			達成率					
				実数値					
				ランク			A		
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額				376	288		事業タイプ	単独事業
	決算額				55			経費区分	物件費

No	款	項	目	事業	R5年度事業名			
					予算書額	うち事業額(千円)		
1	3	2	9	210	子ども子育てトータルサポート事業費	7,123	288	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	288

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	0.5
	※所要時間	

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。
(1はい・0いいえ) はい いいえ

行政が実施すべき事業か。
(1はい・0いいえ) はい いいえ

住民等のニーズは増えているか。
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)
 増加する見込み 横ばい 減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。
(1ない・0ある) ない ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。
(1ない・0ある) ない ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
11	0点~8点	事務改善または廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)
 節減できている 横ばい 増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
 向上している 横ばい 低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
 向上している 横ばい 低下している

市民団体や事業者に業務委託しているか。
(1いる・0いない) いる いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。
(1いる・0いない) いる いない

成果は目標を達成できているか。
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)
 目標を達成できている 進展している 目標に向かっていない

ACTION

今年度 R5方向性⇒

取組内容 トイレトレーニングをしている親子を対象に、各地区子育て支援ネットワーク委員会が実施している事業と共同で、各地区公民館にて、トイレトレーニング講座を開催する。

来年度へ向けて R4年度の実績 各地区トイレトレーニング講座を1回ずつ計10回開催したが、トイレトレーニングが必要な対象者が保育園に在籍しており、参加者が少なかった。参加者からは、学ぶことが大変多くよかったとの意見をいただいた。

R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題 トイレトレーニングが必要な対象者が保育園に在籍しており、参加者が少なかった。より多くの方に参加してもらえるよう今後は平日の参加が難しい方に配慮した開催日について考える必要がある。

実績と課題を踏まえたR6年度の変更点 就学前に対象を広げ、土日開催について保育園に入園している方にも広報することで、より多くの方に参加して学んでもらうようにする。

R6方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択			不可能	不可能	不可能
実施状況			未実施	未実施	未実施

R5年度事業名

R6年度事業名

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	育児用品3R事業
R4年度 事業名	育児用品3R事業

総合戦略 体系	312	若くて元気のまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	出産・子育ての負担軽減
------------	-----	-------------	---------------------	-------------

PLAN (計画)	部署名	子育て支援課	開始年度	2022	終了年度	9999
	目的	SDGsの一環として、使用しなくなった育児用品を回収し、必要としている保護者に提供することで、資源の循環型社会に貢献する。				
	概要	使用しなくなった育児用品を子育て支援センター等で回収した後、各種事業に併せてフリーマーケットを開催し、育児用品を無償で提供する。				
	法令等 根拠 現在	市直営	実施 形態	内容	各種事業に併せてフリーマーケットを開催し、育児用品を無償で提供する。	

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	周知発信回数		回	目標値			2	2	2
				実績値			3		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	参加人数		人	目標値			50	80	100
				実績値			181		
	計算 根拠			達成率			362		
				実数値					
		ランク			A				
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額				65	56		事業タイプ	
	決算額				52			経費区分	

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	3	2	9	210	子ども子育てトータルサポート事業費	7,123	56	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	56

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0
	会計年度職員	0.1
	※所要時間	

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。
(1はい・0いいえ) はい いいえ

行政が実施すべき事業か。
(1はい・0いいえ) はい いいえ

住民等のニーズは増えているか。
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)
 増加する見込み 横ばい 減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。
(1ない・0ある) ない ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。
(1ない・0ある) ない ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
10	0点~8点	事務改善または廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)
 節減できている 横ばい 増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
 向上している 横ばい 低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
 向上している 横ばい 低下している

市民団体や事業者に業務委託しているか。
(1いる・0いない) いる いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。
(1いる・0いない) いる いない

成果は目標を達成できているか。
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)
 目標を達成できている 進展している 目標に向かっていない

ACTION

今年度 R5方向性⇒

取組内容 使用しなくなった育児用品を子育て支援センター等で回収した後、各種事業に併せてフリーマーケットを開催し、育児用品を無償で提供する。

来年度へ向けて R4年度の実績 子育て家庭にとって無償で育児用品を提供する3R事業は入場制限をしなければいけない程好評であった。育児用品の回収にはいろいろと持ってきてくださる家庭もあったが、品数も少なくCOSAPOが各保育所の保護者に依頼し回収した。

R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題 利用者が次回開催を待っている程大変好評であるため、3R事業への協力を情報発信することで、さらに強化しながらCOSAPOと協力し事業を実施していきたい。

実績と課題を踏まえたR6年度の変更点 3R事業への協力について情報発信していく

R6方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択			不可能	不可能	不可能
実施状況			未実施	未実施	未実施

R5年度事業名

R6年度事業名

取組可能な事業の詳細⇒